

## 学校訪問

6/26火

於 町内小中学校  
文教民生経済常任委員会

自然災害・人為災害・特殊災害・複合災害、「災害」の種類は、発生場所や発生原因によって多様に分けられています。

今回の学校訪問は、大阪北部地震の発生後であったため、改めて校内での安全対策や今後の対応についても説明を求めた。危険性があり修繕が必要な箇所については、早急に対応をしていくとの教育委員会の回答もあり安心しました。

近年、今までの経験だけでは対応することできない、未曾有の災害が多発しているように感じます。「災害」は必ず起こると考え、被害を最小限に抑える準備のために団結し、みんなで行動に移していくことが、大切な人の命を守ることに繋がっていくものと信じます。

学力向上への取り組みは、各校が特色を活かした授業を進め、また、無線LANのアクセスポイント設置など、環境も整っています。これらのICT機器は、クラスやグループ学習時にお

る情報の共有、遠隔地との交流

調べ学習などの授業で十分活用されているものと感じました。子どもたちに力を付けさせ成長を促していくには、先を考えたデジタルな授業と、手で書いて覚えていくようなアナログな授業との共存は不可欠であると感じました。

子どもたちには、多くの大人が関わります。その、一人ひとりが災害や犯罪から守る確かな目を向けていただけるよう願います。

文教民生経済常任委員会

副委員長 大島 輝雄



東児玉小でプール脇のブロック塀を視察

## 住民に期待される議会

講師

早稲田大学マニフェスト研究所  
事務局長 中村 健氏

研修会は、3町の議員を対象に、1年に2回定期的に行われていますが、今回は議会の交流を深めることを目的として、本庄市議会議員参加のもとで開催されました。今後は児玉郡市が一体となった交流を、今まで以上に活発に進めていきたいと思えます。

講演では、日本の今後の動きとして2025年以降人口が2005年より1000万人減少し、5人に1人が75歳以上となる超高齢化社会となる。

農山漁村などに滞在する2地域居住人口が1000万人を超える」と予想し、埼玉・東京・神奈川・千葉1都3県で、2000年に482万人だった高齢者数が925万人に倍増。

2020年代には、大量の福祉難民が発生する。また、病気の治療を受ける医療から、発症を予測し押さえ込む医療へと転換。

2045年には、人工知能が人間の知識などを上回る時代に入る技術的特異点の問題等、同時に、どんな世の中は変化するが、住民の生命・財産を預かっている自

## 児玉郡町議会前期研修会

7/6金

於 神川町

治体、そして議決権を有する議会が、この変化や、価値観の多様性に対応していかなければならない時代にあると言われました。議会活動については、次の7項目を念頭に置き活動する。

1. 住民生活の「なに」が「どの程度」向上したか
  2. 地域の課題の「なに」が「どの程度」解決されたか
  3. 住民の意見をどの程度反映できたか
  4. 経費は最少に抑えられたか
  5. 効果の最大化は図れたか
  6. 行政の能率は向上したか
  7. 持続可能な地域になっているか
- 議会には、住民への説明責任を果たす大きな役割があります。



総務建設常任委員会  
委員長 塩原 浩

# より親しみやすい議会だよりを目指して

講師 グラフィックデザイナー  
長岡 光弘 氏

町村議会  
広報クリニック  
7/12木  
於 東京都千代田区  
全国町村議員会館

1 研修当日は、朝7時50分に町役場に編集委員4名が集合し、東京都千代田区の全国町村議員会館に向け、気合を入れて出発。

2 研修は2部構成で、初めに講師が『住民に分かりやすい議会だよりか』のクリニックの視点のもと講義をし、続いて、事前に提出されていた町村の議会だよりを例に、講師が具体的にコメントを実施しました。

3 研修の主な内容としては、「住民の知りたいニーズ」に関しては、①議案紙面は可否情報だけでなく解説も加えること、②議案内容については、簡単な解説を記載すること、③一般質問の紙面は質問・答弁の要点を編集しているか。

4 各町村の議会だよりを見ると、全面カラーのものや、表紙と裏面のみがカラーのものはありましたが、美里町のように全て2色刷りのものは確認した限りではありませんでした。

より分かりやすく、親しみの持てる議会だよりを目指して一層研鑽に努めるとともに、美里町の「議会だより」も、せめて表紙と裏面はカラーにしたいね「そだね」と話し合いながら帰路につきました。

また、「住民視点での編集」に關しては、①情報の概要がわかる編集か、②住民の目を引く見出しと本文が読みやすいか、③関連情報は、紙面に誘導する文章が記載されているか。

さらに、「住民に情報が伝わる表現か」に關しては、①情報区分が伝わる紙面表現か、②見出しに対する本文情報は、住民に一目で分かるレイアウトか、③見やすい紙面表現か、等について具体的に解説・説明していただきました。



議会だより編集委員会  
副委員長 櫻沢 保

# 和気あいあいでの交流会 ~戸田市議会を迎えて~

姉妹都市  
(戸田市) 交流  
7/27金  
於 美里町

今年度の交流事業は戸田市議会24名を美里町に招いて、正副議長の案内で恒例のブルーベリー狩りから始まり、お世話になったのは、中里地区にある「ベリーベリー」農園さんでした。猛暑の中でのブルーベリー狩りにもかかわらず、今年度のブルーベリーは大粒で、甘いと、時間を忘れて摘み取る議員達の額には汗がいつぱいでした。

最後の意見交換会では、自己紹介の後、美里町・戸田市での議会活動について活発な意見を交わし、交流会を終了しました。

編集委員 根本 孝代

和やかなうちにブルーベリー狩りも終了し、次の視察地「美里オーストリッチファーム」へと向かいました。現地では、原田町長・美里町議会議員全員が出迎え、町長に歓迎の挨拶を頂き見学が始まりました。

山田農場長よりファームの説明を聞いた議員達は、ダチョウの写真を撮ったり野菜を与えるなど間近でふれあい、売店ではダチョウの卵や革製品の名刺入れやバッグを買う議員さんもいました。

次に、遺跡の森館2階展示室で町の出土品等について、職員

美里オーストリッチファーム（白石地区）にて



オーストリッチファームには、ダチョウが200羽ほど飼育されているよ。さらに売店では、肉や卵、革製品等も購入できるよ！

